おんがく広場 第130号

令和3年(2021) 5月1日(土)

発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一

Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい　令和2年(2020)4月10日創刊　連絡先 rkato@max.hi-ho.ne.jp

一年振りの開催
埼玉県合唱連盟総会

4/29(木・祝)、大宮ソニックシティ小ホール(500席)で埼玉県合唱連盟令和2年度総会が開かれました。昨年は書面表決となったため、一年振りにリアルな総会が開かれました。考えられる限りの新型コロナウイルス対策を講じての開催となりました。参加者は座席の番号を「客席利用カード」に記載して帰りに提出しました。

昨年の令和元年度総会は郵送により書面表決となりましたが、5/1全加盟団体に総会資料送付→質問受付①→回答をHP上に掲載(閲覧不可の場合は郵送)→質問受付②→5/29加盟団体より「承認・非承認」受付→6月上旬結果報告、という相当手間の掛かるやり方でした。

厳しい運営を強いられた一年間

令和2年度は、7事業のうち「埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト」以外すべて中止となりました。県連史上初めての以上事態です。また、事業ごとの小委員会は事業の変更につぐ変更で打合せ回数が異例の多さとなりました。リモートでの打合せも頻繁に行われました。

――埼玉県合唱連盟の主な7事業――

コーラスワークショップ／埼玉県合唱祭／埼玉県合唱コンクール／彩の国男声コーラスフェスティバル／埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト／全日本おかあさんコーラス大会埼玉県大会

また、財政ひっ迫により役員手当もなしとなりました。令和3年度の予算案も縮小し、役員も5名減らしました。大変厳しい状況です。

▣中止・変更した事業▣

6月:埼玉県合唱祭(5日間)、小学校合唱指導者育成講習会
7月:全日本おかあさんコーラス関東支部大会(2日間)、全日本男声合唱フェスティバルin長野(2日間)
8月:埼玉県合唱コンクール(3日間)、全日本おかあさんコーラス全国大会(2日間)
9-10月:関東合唱コンクール(3日間)、彩の国男声コーラスフェスティバル
10-11月:全日本合唱コンクール(4日間)
2月:埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト(録音審査2日間)
3月:全日本おかあさんコーラス埼玉大会(5月に延期→彩の国女声コーラスフェスティバルに名称変更して開催)、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト(録音審査2日間)
・リモート合唱企画「翼をください」: 6月Youtube公開
・埼玉県合唱連盟WEB合唱祭:6月Youtube公開

▣委嘱作品「日々あたらしく」の試写▣

総会終了後、リモート初演「**日々あたらしく**」(作詩：**新川和江**、作曲：**土田豊貴**)の完成動画の試写が行われました。

この曲は、「コロナ禍でステージがなくなった小中高生のために、<リモート合唱>で新曲初演！」と題して企画され、当たり前に歌うことができた〈過去の日常〉から、当たり前に歌えなくなった〈今の日常〉、中でもコンクールという大きな目標を失った小中高生、とくに最高学年の小学6年、中学3年、高校3年に送るエールとして作られました。予算は、クラウドファンディングを利用して集めました。

作曲された土田豊貴さん(埼玉在住)は新進気鋭の作曲家。同声2部、女声3部、混声3部、混声4部、男声4部とあらゆる形態で歌えるものとして作曲されています。詳しくは埼玉県合唱連盟HPをご覧ください。⤵

https://www.youtube.com/watch?v=d-hB6DB6ivU

▣練習場所がない…(-.-)▣

埼玉県では、4/20から5/11まで「まん延防止措置」が発令されており、公共施設には地域差はあるものの様々な制限が課されています。市によっては合唱団が練習場所を失い、6月の合唱祭出演を見送ったケースもあることから、参加団体は異例の少なさとなりました。

例えば、男声合唱プロジェクトYARO会の5団体のうち出演するのは、男声合唱団コール・グランツと男声あんさんぶる「ポパイ」の2団体だけ。ほかは練習ができていません。

陽性者の発生状況からしてもまだコロナ禍終息の気配は見えてきません。いずれワクチンが行きわたれば、当たり前に歌える日常が戻ってくるようになるのでしょうか…。